



LCC News Letter 1 6

同志社で学んだ留岡幸助 28 Mar. 2011



高梁基督(キリスト)教会堂(明治22年建築)

『大地の詩～留岡幸助物語～』上映のお知らせが校友会大阪支部よりありましたが、留岡幸助について少し触れます。

留岡幸助は岡山県備中に生まれ、1885年に同志社英学校に入学し新島襄の薫陶をうけ、後に岡山の**高梁基督教会堂**で伝道に従事しました。

1891年(明治24年)北海道空知監獄の教誨師(きょうかいし)となり、囚人の実態を知り、犯罪の根源を絶つための感化事業、とくに少年教護を志します。そのため、米国留学を経て、1899年東京・巣鴨に家庭学校を創立、非行少年の感化に努めました。

1908年(明治41年)には、中央慈善協会を創立して幹事となり、近代日本の社会事業の基礎をつくりました。特に家庭学校は、その後、北海道などにも分校が設けられ、二男の清男(1898—1977)に受け継がれたのです。所謂、明治から昭和初期の社会事業家であったのです。

尚、高梁基督教会堂は、現存する岡山県下最古の教会で、県の史跡に指定されています。1879年(明治12年)に始まった高梁でのキリスト教布教活動は、翌13年に

新島襄が訪れると急速に発展し、信者の浄財によって教会が建築されました。

1876年に同志社に入学し、新島襄より洗礼を受けた**金森通倫**は、1880年に創立された岡山教会の初代牧師として赴任し、高梁基督教会堂の指導に深く関与しました。留岡の大先輩です。

因みに、金森通倫の曾孫が、防衛庁長官や農林水産大臣を歴任した自由民主党の**石破茂**です。

大地の詩～留岡幸助物語
映画の上映について

同志社大学に学び、北海道で家庭学校を創設、多くの少年たちに愛と希望を与え続けた、留岡幸助の心の開拓史。

日時：4月21日(木) 上映
時間 | 10:30 / 14:00 /
17:30 の3回

会場：同志社大学今出川キ
ャンパス、寒梅館地下一階

出演：村上弘明、工藤夕貴、
中條きよし ほか

監督：山田火砂子
料金：1,300円

(当日会場ロビーにて留岡
幸助ゆかりの品々が展示)

(文責：北出 至)